

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	水谷工業株式会社
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景 2022年10月1日の育児・介護休業の改正により男性も育休が取得し易くなったことと、男性が育児に参加することで、仕事と家庭の両立に役立ててようにするため。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 イクメンプロジェクトのリーフレットの配付と掲示。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 女性だけでなく男性社員も育休を気軽に取得できるよう、育児休業制度に対する理解や協力を得られる環境の整備。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 一次的に業務を見直し、休業中の仕事を分担させた。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 女性も男性も積極的に仕事と家庭の両立を図れるよう、さらなる育児休業体制の構築をめざす。</p>

1 育休取得期間	通算 90 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 第一子である赤ちゃんが生まれ、人生で一番かもしれないくらい貴重な体験をしたいと思い取得しました。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 最近、「父親が抱っこして泣き止むのはすごい。」と友人たちに言われました。育児休業取得の効果かもしれません。小さな成長を毎日見られたのは幸せでした。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 現場仕事の利点かもしれませんが、事前に上司へ伝えておいたことでうまく調整をしていただけました。また、社内の情報共有ツール（Slack）を活用しました。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 育児休業で、睡眠不足こそストレスの原因だと実感しました。それから睡眠時間を大事にして、健康的に働くことを意識しています。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 赤ちゃんを育てると、人であり、父になったことを実感します。そのことを体で理解して職場へ戻る方が質の良い仕事ができます。ぜひ、人生で一番の貴重な経験をして下さい。</p>

【対象従業員記載欄】

(注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。